

鳥取県の「教育に関する大綱」(第二編「平成29年度重点取組施策」)と関連する主な事業

H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29 予算額 (千円)	担当課	備考
1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～				
①	<p>連続性のある教育の推進 地域の協働・連携による小中一貫教育を推進する ため、中学校区で住民参画の協議会を設置し、目指す子ども像を共有し、中学校区全体のネットワーク会議を設けて、目指す子ども像の作成を共同で行い、地域の特色を生かした小中9年間を見通した系統性のあるカリキュラムづくりを取り組む市町村を支援する。</p> <p>また、これまで取り組んできたスクララム教育の成果を生かして、小中高を見通した学習内容の定着と応用力を伸ばす教科指導体制の全県への普及に取り組みます。</p>	970	教育委員会 小中学校課	小中学校課
②	<p>幼児小連携の推進 豊かな自然を生かすなど遊びきる子どもの育成や、小学校教育との連携による円滑な接続等を図ること「幼保小連携カリキュラム」を全県に普及するため、「取組事例集」「園内研修用DVD」などを、幼稚園・保育所・認定こども園等における教職員の指導力向上の研修等に活用し、幼児教育の充実に取り組まします。 また、幼児教育の推進体制を強化するため、「幼児教育センター」を設置し、研修の充実、研修の推進を推進します。幼保小連携の取組を推進します。</p>	1,937	教育委員会 小中学校課	小中学校課
③	<p>授業改革の推進 学力の向上を目指すため、特に算数・数学等の課題解決に向けた取組を行う授業研究会等にアドバイザーを派遣し、小中学校相互の教科でのつながりを基盤として、教師の授業力向上に取り組むとともに、課題となっている小学校の理科の指導力向上させるため、拠点校を中核にして授業改革を全県に普及します。 また、次期学習指導要領の改訂を見据え、アクトエイブ・ラーニングの視点に立った授業改善の取組を推進させ、従来の形式にとらわれない少人数方式の探究型学習や協働研究などの展開により、授業デザイン力を高め、理解力、思考力、表現力を一層高める鳥取県独自の効果的な学びの改革を進めます。</p>	5,390	教育委員会 高等学校課	高等学校課
	<p>特色ある小中9年教育支援事業 地域の次代を担う地域人材の育成のため、各小・中学校単位の地域協議会が一体となった中学校区全体のネットワーク会議を設けて、目指す子ども像の共有と協働による学校運営を推進し、地域の特色を生かした小中9年間を見通した系統性のあるカリキュラムづくりを取り組む市町村を支援する。</p> <p>教育充実活性化事業 義務教育以降の学びの基礎となる質の高い幼児教育の全県展開のために、「鳥取県幼児教育振興プログラム」(改訂版:H24)、「幼保小連携カリキュラム」(H25)「園内研修用資料」(H27)を引き続き活用し、幼稚園・保育所・認定こども園の教職員の指導力向上と小学校教育との連携推進を図る。 (新規)市町村幼児教育・保育指導者研修会</p> <p>幼保小連携推進モデル事業 円滑な接続をめざした幼保小の連携に向けて、効果的な取組(接続期のカリキュラムの作成等)を行う市町村をモデル的に支援し、全県への波及効果を狙う。 (新規)事業成果の還元として、接続期のカリキュラム編成に向けた参考資料を作成</p> <p>幼児教育の推進体制強化 国の幼児教育の質の向上にむけた体制整備等を踏まえ、幼児教育センター設置による本県における幼児教育の拠点機能の強化を図る。</p> <p>アクトエイブ・ラーニング推進事業～21世紀型能力を育む次世代授業の創造～ 校種を超えた連携教育を進めるとともに、最新の知見を取り入れた学習科学に基づいた授業を設計・実践・公開し、授業改革の全県的な普及を図るほか、「21世紀型学力検討委員会」を設置し、具体的な授業改革や教育課程を検討するなど、文部科学省が進めている高大接続システム改革を見据えた対応を行う。</p> <p>生き生きとした学びの場づくり 学習指導要領の改訂方針を踏まえつつ、学校図書館を活用した主体的・対話的で深い学び(アクティビティ・ラーニング)の推進を支援し、一層の学校図書館活用教育の充実を図る。</p> <p>教科でつながる小中連携授業 これまでの施策により定着した小中連携の取組を基盤としつつ、全国学力・学習状況調査結果等を踏まえた中学校区の学力課題の解決に向け、教科でつながり、教科研究をとおして小中の指導のノウハウを共有し、小中相互の教員の授業力向上を図るための研究を支援する。</p>	2,700	教育委員会 小中学校課	小中学校課
		5,390	教育委員会	高等学校課
		1,444	教育委員会	図書館
		5,374	教育委員会	小中学校課

H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
	<p>○小学校理科教育パワーアップ事業 優れた指導力を有する教員を配置した拠点校を中核とし、公開授業や研修会の実施、さらには教育研究団体との連携をとおし、全県的に小学校理科における教師の授業力向上を図る。</p> <p>○小学校高学年における教科担任制の導入検証事業 学力定着、生徒指導の充実等の成果が期待される小学校高学年の教科担任制の導入推進に向け、モデル校における実践事例や課題点等を検証するとともに、より効果的な教科担任制の導入について全県に発信する。</p> <p>○教職員研修費 ・基本研修(初任者研修・2年目研修・5年目研修・中堅教諭等資質向上研修)と専門研修(学習科学セミナー)にアグティブ・ラーニングの視点に立った授業改善についての研修を位置づける。 ・学校の中核となる教員の指導力向上とその普及を図るため、教科・領域指導力向上セミナー(小:算数、中:数学、高:学習科学セミナー)を開催する。 ・アグティブ・ラーニング推進事業～21世紀型能力を育む次世代授業の創造～(再掲)</p>	<p>3,280</p> <p>5名 (定数)</p> <p>56,307</p> <p>5,390</p>	<p>小中学校 課</p> <p>小中学校 課</p> <p>教育セン ター</p> <p>高等学校 課</p> <p>教育環境 課</p> <p>教育環境 課</p> <p>教育環境 課</p> <p>小中学校 課</p> <p>教育セン ター</p>	
<p>④ 高大接続システム改革への対応 高大接続システム改革を見据え、高校等に専門講師を招聘してアグティブ・ラーニングを取り入れた授業へと改革する。平成31年度から実施予定)及び「大入学希望者学力評価テスト(仮称)」(平成32年度から実施予定)を設置し、具体的な授業改革や教育課程の編成について検討します。</p>				
<p>ICT活用教育の推進 学びの質的転換に合わせた教員のICT活用指導力の向上等に努め、全ての教員がICT活用指導力を身に付け、学びの場面でICT機器整備とデジタル教材導入により、学びの充実、学び直し、個別学習、協働学習などを推進し、効果的なICT活用教育を推進します。また、小中連携で情報モラル教育を見通した年間指導計画を作成し、その成果を全県に普及します。</p>	<p>○県立学校ICT環境整備事業 県立学校において、インターネットや情報機器を積極的に活用した授業を展開できるよう、各教室や情報処理室等にパソコン、液晶プロジェクター等の環境を整備する。</p> <p>○県立学校ICT環境整備事業(特別支援学校用機器整備) 特別支援学校における困難の解消などに活用することで、生徒の学力向上や学びに対する意欲を引き出す支援を行う。</p> <p>○県立学校ICT環境整備事業(高等学校用機器整備) 新学習指導要領に位置づけられる予定となっている、生徒の学ぶ意欲を高めるアグティブ・ラーニング型授業に対応するため、県立高等学校にタブレット型パソコン等の整備を行い、学びの環境を整える。</p> <p>○情報モラル教育推進事業 小中学校における情報モラル教育の推進について、情報教育サポーター、鳥取県ICT活用教育推進協議会と連携してモデル校に取り組み、その成果を全県に普及する。</p> <p>○ICT活用教育推進事業(ICT活用教育推進のための新任学校CIO及び新任情報化推進リーダー育成研修) 昨年度に引き続き、教員のICT活用指導力を全体的に向上させるため、新任学校CIO研修、新任情報化推進リーダー、自修委託を行う。</p>	<p>880,757</p> <p>40,101</p> <p>45,926</p> <p>1,880</p> <p>2,617</p>	<p>教育環境 課</p> <p>教育環境 課</p> <p>教育環境 課</p> <p>小中学校 課</p> <p>教育セン ター</p>	

H29改定大綱(第二編)	関連する主な事業	H29予算額(千円)	担当課	備考
<p>⑥</p> <p>教師の指導力の向上 全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえ、すべての児童生徒に確かな学力を育成するための指導方法を進めるとともに、新たな工学部・共育等を通じて、教師が互いに学び、授業を高め合う仕組みを構築します。また、次期学習指導要領を見据え、論理的思考力の育成に向けたプログラミング教育を効果的に実施するため、大規模な研修会を開催します。</p>	<p>関連する主な事業</p> <p>○エクスパート教員育成事業 戦略的に高校のエクスパート教員を育成するため、県外先進校へ派遣し、優れた教科指導力を持つ県外教員の授業を参観し意見交換を行ったり、「アークタイプ・ラーニング」等の全国規模の研修に参加し、教科指導方法等の最新の知見を学んだりする。</p> <p>○【新】学力向上を支える基盤づくり支援事業 全国学力・学習状況調査結果の分析を踏まえ、すべての児童生徒に確かな学力を育成するため、望ましい学習習慣や学習規律の確立、基礎・基本を確実に定着させるための指導方法や指導体制の充実を図る。 ・手引き「学力向上を支える基盤づくり」(仮称)の作成・配布 ・とりどころドリルの具体的・効果的な活用手法及び計画の提示</p>	675	教育委員会	高等学校
<p>⑦</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的取り組みます。 また、子どもたちの外国に対する興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○【新】プログラミング教育実施支援事業 プログラミング教育の目的や意義について理解を図るための説明会の開催や教員自らがプログラミングを体験する機会を設けることにより、次期学習指導要領において充実を図ることとされているプログラミング教育の効果的な実施に資する。</p> <p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	4,019	教育委員会	小中学校
<p>⑧</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	1,056	教育委員会	小中学校
<p>⑨</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	9,801	教育委員会	小中学校
<p>⑩</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	9,106	教育委員会	高等学校
<p>⑪</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	26,247	教育委員会	高等学校
<p>⑫</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	11,472	教育委員会	高等学校
<p>⑬</p> <p>グローバル化に対応した英語教育の推進 グローバル化に対応した英語教育の推進 度から次期学習指導要領の全面実施を見据え、教員研修の充実など小学校の「英語」教科化等に対応する教員の手業研究等にモデル的に取り組む。興味・関心と英語によるコミュニケーション能力を高めるため、海外留学・海外体験への支援のほか、県内小学校5校に外国語計画の作成や授業研究等にモデル的に取り組む。</p>	<p>○エクスパート教員認定事業 他の教員のモデルとなるような優れた教育実践を行っている教員を「エクスパート教員」として認定し、その優れた指導技術等を普及させていくことにより、本県教員の指導力の向上を図る。</p> <p>○英語教育強化推進事業 新学習指導要領の全面実施に向け、本県独自の研修を実施し、英語教員の指導力向上を図る。</p> <p>○小学校英語パワーアップ事業～拠点小学校を中心とする英語教育強化事業 ・県内小学校5校を小学校英語教科化の先行実施モデル校に指定し、外国語指導助手(ALT)を各1名ずつ配置。 ・モデル校では、担当教諭とともに小学校英語の教科化に資する指導計画の作成や教材(指導案)開発、先行研究、近隣学校の教員に対する指導力向上研修等を実施し、成果を全県に普及することと、全県小学校における小学校英語教科化全面実施(H32年度から)の体制を整える。</p> <p>○鳥取発！高校生グローバルチャレンジ事業 留学などの海外体験を通じて、柔軟な思考力や豊かな表現力を持ち、国際社会で活躍する人材を育成する。</p> <p>○外国語教育改善指導費 グローバル化が進化した現代社会において必要となる外国語教育の充実を図るため、県立高校に語学指導等を行うALTを配置する。また、英語担当教員の指導力向上を図るため、教員を英語圏に長期派遣し研修を行う。</p>	129,911	教育委員会	高等学校

H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
	<p>○グローバルリーダーズキャンパス 米国スタンフォード大学と連携し、県内高校生向けの遠隔講座を開設することにより、幅広い国際感覚を身につけ、世界を視野に入れて活躍する高い意欲と志を持った人材の育成を図る。 ・対象：県内高校に在学する生徒25～30人程度 ・講座数：12講座（アメリカ留学、第二次世界大戦、野球、多様性 ほか） ・進め方：担当教授の講義やディスカッション、課題の提出と認定により講座を進行。</p>	10,516	教育委員会 高等学校課	
	<p>○グローバル・リーダー育成事業 国内外の大学や企業、国際機関等と連携を図り、英語を使う機会の飛躍的増加、先進的な人文科学・社会科学分野の教育の重点化等に取り組む高等学校（SGH：スーパーグローバルハイスクール）を指定し、質の高いカリキュラムの開発・実践やその体制整備を支援する。</p>	11,802	教育委員会 高等学校課	
	<p>○とっとりイングリッシュクラブ 中高校生を対象に、年間を通じて英語による体験活動を実施し、英語によるコミュニケーション能力の伸長を図る。</p>	1,189	教育委員会 高等学校課	
	<p>○鳥取県版キャリア教育推進事業 県キャリア教育推進会議を開催し、キャリア教育の推進状況等を評価し、改善を図るとともに、キャリア教育推進協力企業などと連携し、キャリア塾等の取組を実施する。</p>	13,847	教育委員会 高等学校課	
	<p>○学生等県内就職加速化事業（中学生、高校生向けキャリア教育事業） 中学生、高校生のキャリア教育と連携した企業経営者・若手社員による県内企業の魅力講義、教員を対象とした産業（企業）見学会、県内就職を伝える情報誌の授業活用を行うことにより、県内就職を加速化させる。</p>	1,088	商工労働部 就業支援課	
	<p>○【新】スーパー農林水産業士育成応援事業 農林水産各分野の専門高校において「スーパー農林水産業士」の技術認定制度を創設し、地域の若者を県内の農林水産分野での就業者として育成して、地域で就業できる環境づくりを図り、新規就業者の確保を推進する。</p>	3,758	農林水産部 とっとり農業戦略課	
	<p>○県立高校土曜授業等実施事業 地域の多様な経験や技能を持つ人材や、企業・関係機関等と連携し、土曜日特性を活かした教育活動を実施する。</p>	5,000	教育委員会 高等学校課	
	<p>○土曜授業等実施支援事業 全ての子どもたちの土曜日における教育活動の本実を図るため、学校・家庭・地域が連携・協力して行う学校における授業、地域における多様な学習や体験活動の機会の充実などの取組を推進する。（小中学校課分）</p>	14,698	教育委員会 小中学校課	

H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考	
2 社会全体で学び続ける環境づくり ～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～					
<p>学校、家庭、地域が連携して子どもを育てる体制づくりの推進</p> <p>子どもたちの健やかな成長を育むため、学校支援ボランティアの活躍や放課後子供教室等の取組の充実に加えて、地域住民等のより一層の参画を図り、学校、家庭、地域(個人・団体・企業)が連携して子どもを育てる体制づくりを推進します。</p> <p>また、「鳥取県家庭教育推進協力企業制度」を県内企業等に周知し、協力企業を弾やすなど、ワーク・ライフ・バランスを推進することで、社会全体で家庭教育を支援し、子育てしやすい環境づくりを進めます。</p> <p>さらに、次期学習指導要領の核となる「社会に開かれた教育課程」の実現に向け、コミュニティ・スクールの導入促進を図り、地域とともにある学校づくりを推進します。</p>	<p>○学校支援ボランティア事業 地域住民等の参画により、学校の教育活動を支援する仕組をつくり、様々な学校支援活動を実施することに対して助成する。(学習支援、環境整備、クラブ活動や部活動支援、登下校安全指導等)</p> <p>○放課後子供教室推進事業 子どもたちの安全・安心な居場所づくりを推進するため、放課後や週末に小学校の余剰教室、公民館等を活用し、地域の方々の参画を得て、学習やスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動等の取組を実施する。</p> <p>○とっとりふれあい家庭教育応援事業 従業員が子育てしやすい地域活動に参加しやすいため、企業における自主的に取り組む企業と協定を締結し、企業における家庭教育の推進を図る。</p> <p>○【新】コミュニティ・スクール導入促進事業 地域とともにある学校づくりに取り組んで、学校・家庭・地域が一体となったよりよい教育の実現に向けて、コミュニティ・スクールの導入促進や取組充実等を行う市町村を支援する。</p> <p>○県立高校授業予算学校独自事業 重点的な取組のひとつに「学校の特徴・魅力づくり」を定め、地域と連携した事業に予算を重点配分している。</p> <p>○「ふるさとを元気に」とつとりの文化遺産活用推進事業 鳥取県の優れた文化財を地域振興(観光資源等)や教育資源として活用するため、その魅力の再発掘を行い、より効果的な活用方法を講じるとともに、地域の文化財や伝統文化に触れる機会を充実させる。</p> <p>○「とっとり弥生の王国」普及活用事業 国内最大級の弥生時代集落「葦木晩田遺跡」、地下の弥生博物館「青谷上寺地遺跡」の2大遺跡を「とっとり弥生の王国」として一体的に活用し、種々の事業を通じて両史跡を活かした学びを進める。</p> <p>○伝統芸能等支援事業 無形民俗文化財の保存伝承や保存団体の保存伝承活動への支援を行う。</p> <p>○未来を拓く学力向上事業 「科学の甲子園」鳥取県大会、高校生理数課題研究会等発表会を開催する。</p> <p>○県立高校授業予算学校独自事業【再掲】 ものづくり教育に係る各種競技会への参加を支援する。</p>	<p>34,330</p> <p>25,162</p> <p>11,033</p> <p>13,042</p> <p>189,338</p> <p>4,166</p> <p>38,654</p> <p>3,398</p> <p>1,483</p> <p>189,338</p> <p>737</p> <p>10,367</p>	<p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p>	<p>小中学校課</p> <p>小中学校課</p> <p>小中学校課</p> <p>小中学校課</p> <p>高等学校課</p> <p>文化財課</p> <p>文化財課</p> <p>文化財課</p> <p>高等学校課</p> <p>高等学校課</p> <p>小中学校課</p> <p>教育・学術振興課</p>	
<p>②</p>	<p>ふるさと教育の推進</p> <p>史跡、まちなみ、建築物、郷土芸能、伝統芸能、民芸等の様々な郷土の貴重財産に触れ、その良さを感じる学習を進めるとともに、地域をテーマとした探究学習や地域や地元企業等と連携した教育活動の充実を図り、「郷土とつとりに」に愛着と誇りをもった人材の育成に取り組めます。</p>				
<p>③</p>	<p>科学・ものづくり教育の推進</p> <p>「科学の甲子園ジュニア」等の全国大会への出場権をかけた科学の競技会、著名な科学者の講演や科学実験教室の開催などにより理数系分野の学習意欲の一層の向上や科学にふれる機会を提供するとともに、教員の理数教科の指導力の向上に取り組めます。</p> <p>また、Fablabとつとりの運営、中高生向け研修など産学官協働で取り組むものづくり教育や「高校生ものづくりコンテスト全国大会」等の各種競技会への参加などの実践活動を支援します。</p>				

	H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
④	<p>学ぶ意欲が高まる教育の推進 創造力とチャレンジ精神を持った高校生を主体的な企画、活動への支援等を通じて、学習意欲や起業・創業など夢の実現に向けた意欲を高めるための仕掛けづくりに取り組みます。</p>	<p>○未来につながる高校生が自らの自主性や個性を伸ばし、さらには学校や地域の活性化につなげるため、県内の高校、特別支援学校高等部及び高等専門学校に在籍している個人又はグループを対象に実施する。</p>	1,000	高等学校 教育委員会	
⑤	<p>家庭教育の充実 市町村と協働しながら、PTAや地域での保護者の交流や支援に携わる関係者の連携を促進し、家庭教育に関する情報提供や相談対応、学習機会のコーディネートなど、地域の実情に応じた家庭教育支援体制の強化に取り組みます。また、現在の家庭教育支援チームの主たる活動である相談や学習機会の提供に加え、個々の家庭の課題に応じて必要な支援が届くよう訪問型家庭教育支援の取組を促進します。</p>	<p>○とつとつふれあい家庭教育広聴事業 子育てや家庭教育についての学ぶ機会や支え合える仲間づくりを進める機会を提供し、家庭教育力の向上を図る。(家庭教育アドバイザーの派遣「子育て親育ちプログラム」ファシリテーター(進行役)の派遣など) 市町村が行う家庭教育支援チームの取組を支援することにより、身近な地域で相談できる体制が整い、さらに、困難を抱える家庭への支援として訪問型(アウトリーチ型)家庭教育支援を推進する。</p>	11,033	小中学校 教育委員会	
⑥	<p>子どもが成長する安全・安心な居場所づくり 低所得者世帯やひとり親家庭など困難な家庭環境にある子どもたちが、社会性を身につけ、自己肯定感を高め、食事をとるよう、夜間や休日、地域の大人や友達と一緒に食事を作って食べたり、勉強したりするなどの体験活動を通じて学ぶ、子どもたちの居場所づくりを支援します。</p>	<p>○子どもたちの居場所づくり推進モデル事業 低所得者世帯やひとり親家庭等の子どもたちが、夜間や休日に、地域の大人や友達と一緒に食事や勉強、活動を行い、子どもたちの社会性、規則正しい生活習慣の獲得、世帯の孤立防止等を推進することができる居場所づくりを支援する。 (支援内容) ・ 初期経費 (補助率) 県2/3、市町村1/3 (補助基本額) 1か所当たり2,000千円 ・ 運営費 (補助率) 県、市町村各1/2 (補助基本額) 1か所当たり2,000千円</p>	9,500	福祉保健課	
⑦	<p>社会教育の推進 学びの場を拠点とした地域のつながりや交流を深め、連携して地域や子どもを守る育青、公民館の職員等社会教育関係者の資質の向上を図るほか、地域のことを学んだり、地域活動・ボランティア活動に取り組む高校生や青年層の団体等を支援し、次代の地域を担う人材の育成に取り組むことなどにより、社会教育の充実に取り組みます。</p>	<p>○県市町村社会教育振興事業 地域づくり・人づくりの要となる市町村及び県の社会教育関係者の資質向上を図る。また、社会教育関係者等が社会教育の推進に向けて協議する第40回中国・四国地区社会教育研究会鳥取大会(10/26、27米子市)を開催する経費について助成する。 ○青少年ふるさとキャリア教育活性化事業 高校生・青年層を対象とするふるさと教育、キャリア教育に取り組み社会教育関係団体等(市町村、公民館、青年団等)の活動を補助することで、地域の高校生・青年層の活動を活性化、人材育成を行うとともに、その取組を県内に広げていく。</p>	1,416	社会教育課	
⑧	<p>自然体験活動等の推進 子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むため、青少年社会教育施設での自然体験活動の実施等を推進するとともに、家庭環境等により体験格差が生じないよう、児童養護施設や母子生活支援施設が取り組み自然体験活動を支援します。</p>	<p>○【新】児童養護施設等と連携した自然体験活動推進事業 児童養護施設及び母子生活支援施設と県立青少年社会教育施設等が連携し、施設や入所者の希望や課題意識に応じた自然体験活動の実施方法を検討し、実施する。</p>	385	社会教育課	
⑨	<p>主権者教育の推進 選挙権年齢が18歳以上に引き下げられたことに伴い、小・中・高校のそれぞれの段階において、教科における指導を行うほか、地域を知り、地域に関心を持つための活動をとおして児童生徒の社会参画意識を高めるとともに、模擬投票などを通じて政治や選挙の役割を学ぶなど、主権者教育を推進します。</p>	<p>○主権者教育推進事業 主権者として求められる力を育成するため、系統的・計画的な指導計画を学校が立案し、各教科等において具体的な教育活動を行うに当たり、必要な研修等を実施する。</p>	2,022	社会教育課	高等学校 教育委員会

H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
<p>⑩ 県内企業情報の充実な提供 本県出身学生等の県内企業への就職を促進するため、高校卒業前に、県内企業や新卒求人等の最新情報が掲載された「とっとり就職ナビ(とっとりナビ)」の配信につながる学生登録を促し、Uターン就職を視野に入れた幅広い職業選択ができてくるよう、鳥取県の魅力ある企業情報を発信します。</p>	<p>関連する主な事業 ○ 学生等県内就職加速化事業(とっとり学生登録サイトの運営) 高校卒業前に学生登録を行い、県内の就職情報等をメール等で必要な時期に、随時、学生に配信し、また、郵送により年6回(回)学生及び保護者に送付する。</p>	324	商工労働部	就業支援課
<p>3 学校を支える教育環境の充実 ～安全・安心に学べる教育環境づくり～</p>				
<p>⑪ いじめ防止等への取組の充実 学校・家庭・地域が一丸となつて取り組むための人権教育プログラムを開発・普及し、総合的ないじめ防止対策につなげる。鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、いじめ問題に関する機関・団体の連携を図ります。また、児童生徒による主体的な取組の取組を充実させるため、児童生徒の取組の発表等を行うフォーラムを開催するほか、いじめによる重大事象の発生を防ぐため、いじめを早期段階で積極的に認知する取組を進めます。加えて、現代的・社会的課題に対応した人権意識を高める教育にも取り組めます。</p>	<p>○ いじめ防止対策推進事業 「鳥取県いじめ問題対策連絡協議会」を開催し、関係機関等と連携を図りながら、いじめの積極的な認知や早期にいじめを発見する方法等のいじめ対策に取組むとともに、引き続き相談窓口の充実を求め、サポートチームを編成して解決にあたる学校等を支援するよう「子どもたちの悩みサポートチーム支援事業」を実施する。また、いじめが原因と考えられる重大な事案に関し調査・検証を行うための調査委員会を常設する。</p>	14,133	教育委員会	いじめ・不登校総合対策センター
<p>⑫ 明日へつなぐ心のキャンペーン事業2017 いじめの未然防止をめぐり児童生徒の主体的な取組を継続的に促すため、いじめ防止啓発作品の募集、いじめ防止・仲間づくりのためのフォーラムの開催等を行う。</p>	<p>○ 明日へつなぐ心のキャンペーン事業2017 いじめの未然防止をめぐり児童生徒の主体的な取組を継続的に促すため、いじめ防止啓発作品の募集、いじめ防止・仲間づくりのためのフォーラムの開催等を行う。</p>	1,372	教育委員会	いじめ・不登校総合対策センター
<p>⑬ 地域と共に創るとっとり人権教育事業 学校・家庭・地域が連携していじめ防止等に取組むための効果的な実践事例を開発し、その成果を学校・家庭・地域で活用できる人権教育プログラム集として県内に普及させる。また、作成した人権教育プログラムの周知と県内学校への普及を図るため、ファシリテーターの養成と派遣を実施する。</p>	<p>○ 地域と共に創るとっとり人権教育事業 学校・家庭・地域が連携していじめ防止等に取組むための効果的な実践事例を開発し、その成果を学校・家庭・地域で活用できる人権教育プログラム集として県内に普及させる。また、作成した人権教育プログラムの周知と県内学校への普及を図るため、ファシリテーターの養成と派遣を実施する。</p>	4,190	教育委員会	人権教育課
<p>⑭ 学校人権教育振興事業 【研修事業】 各学校の人権教育主任、市町村教育委員会の担当者等を対象とした研修を行い、人権教育に係る理解と認識を深めたり、効果的な指導方法の研究協議等を行う。 【指導事業】 各学校での研修会等に職員が出向き、指導・助言を行う。 【講師派遣事業】 DVT-DV学習会、命の大切さを学ぶ教室などの各部署で行われている講師派遣事業を各学校へ紹介し、利用を希望する学校のとりまとめや調整を行う。 【鳥取県人権教育基本方針第2次改訂一普及事業】 学校教育・社会教育関係機関をはじめ、広く県民に周知するため「鳥取県人権教育基本方針第2次改訂一概要版」を作成し頒布する。</p>	<p>○ 学校人権教育振興事業 【研修事業】 各学校の人権教育主任、市町村教育委員会の担当者等を対象とした研修を行い、人権教育に係る理解と認識を深めたり、効果的な指導方法の研究協議等を行う。 【指導事業】 各学校での研修会等に職員が出向き、指導・助言を行う。 【講師派遣事業】 DVT-DV学習会、命の大切さを学ぶ教室などの各部署で行われている講師派遣事業を各学校へ紹介し、利用を希望する学校のとりまとめや調整を行う。 【鳥取県人権教育基本方針第2次改訂一普及事業】 学校教育・社会教育関係機関をはじめ、広く県民に周知するため「鳥取県人権教育基本方針第2次改訂一概要版」を作成し頒布する。</p>	1,877	教育委員会	人権教育課

H29予算額 (千円)	H29予算額 (千円)	関係する主な事業	担当課	備考
22,938	22,938	<p>H 2 9 改定大綱 (第二編)</p> <p>② 安心して学べる学校教育の推進 不登校や特別な支援を必要とする子どもたちへの効果的 な支援に向けて、学校及び関係機関等が、それぞれ持つ ノウハウを科学的根拠をもとに検証したり、共有し、教職員 の対応力の向上等に取り組みます。 また、貧困等複雑な背景のある子どもたちを支援するた め、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー の配置や研修の充実などにより、学校を窓口として福祉関 連機関との連携を強化し、相談・支援体制の充実を図りま す。さらに、児童生徒が置かれている環境が複雑多岐にわた る現状等を鑑み、県内のスクールソーシャルワーカーに対 し、適切な支援ができるよう工夫を配置しま す。</p>	<p>いじめ・不登校総合対策七 教育委員会</p>	
45,479	45,479	<p>○【拡】スクールソーシャルワーカー活用事業 社会福祉の専門的な知識や技能を有するスクールソ シャルワーカーを市町村教育委員会に配置(市町村事 業への補助)し、複雑化する家庭環境等が背景 にある児童生徒が抱える問題への対応の充実を図ると ともに、県内において連絡協議会や育成研修を 実施し、事業の充実を図るとともに、スーパーバイザ の勤務時間を拡大し、スクールソーシャルワーカーに 対し適切な援助を行う。</p>	<p>いじめ・不登校総合対策七 教育委員会</p>	
635	635	<p>○【新】安心・安全な学級づくりプロジェクト事業 「子どもみんなプロジェクト(文科省の委託事業)」に おいて調査研究を進めている脳科学・精神医学・心理 学等を基礎とした科学的根拠のあるプログラムを モデル地域で実践し、不登校やいじめに対する未然 防止の効果的な取組方法を広める。</p>	<p>いじめ・不登校総合対策七 教育委員会</p>	
392	392	<p>○【新】図書館を活用した「サポートの必要な家庭 応援」事業 図書館の「資料」や「場」を活用し、サポートの必 要な家庭を支援するとともに、現状や課題を理 解し、図書館の活用方法を周知するために、セ ミナーの開催、ネットワークづくり等を推進す る。</p>	<p>図書館 教育委員会</p>	
3,344	3,344	<p>○「地域未来塾」推進事業 「鳥取県子ども未来塾」に基づく教育の支援とし て、大学生や教員0Bなど地域住民の協力による「地 域未来塾」を開講する市町村に助成し、経済 的な理由や家庭の事情により、家庭での学習が 困難であったり、学習が遅れがちなか ら、長期間休業する。また、経済的に困窮して いる家庭やひとり親家庭等を支援するため、支 援団体の活用や支援機関と共同してセミナー等 を開催する。また、NPO等団体等と図書館との 連携を推進します。</p>	<p>小中学校課 教育委員会</p>	
482,976	482,976	<p>○育英奨学事業(大学等奨学資金) 大学等に進学する者のうち、経済的理由により 修学が困難である者に対して、育英奨学資金を 貸与する。</p>	<p>人権教育課 教育委員会</p>	
2,480	2,480	<p>○育英奨学事業(大学等進学資金助成金) 大学、専修学校等への進学に際して、金融機 関から進学資金を借り入れた者に対して利子 の一部を助成する。</p>	<p>人権教育課 教育委員会</p>	
4,939	4,939	<p>○学習支援充実事業 教育委員会が実施する「地域未来塾」事業に 取り組む市町村に対して、事業の対象とならな い経費(送迎や教材費)の一部を助成する。 (補助率)県、実施自治体各1/2 放課後児童クラブで生活保護を要する世帯、生 活困窮世帯、ひとり親世帯に学習支援を行う 市町村に対して、学習支援に要する経費の一 部を助成する。 (補助率)県、実施自治体各1/2 (補助上 限額)1クラブ当たり20万円</p>	<p>福祉保健部 福祉課</p>	

H29改定大綱(第二編)	関連する主な事業	H29予算額(千円)	担当課	備考
<p>不登校生徒等の多様な学びの場の確保とアウトリーチ(訪問)型支援</p> <p>不登校等の児童生徒に対して、多様な学びを提供する「フリースクール」への運営費支援を行うなど、多様な学びの場の確保に取り組みます。</p> <p>また、市町村設置の支援センターの充実のため、多様な学びの場、ネットワーキング構築支援を行うとともに、高校不登校生徒、中卒者及び高校中途退学者で進学や就労していない者の学校復帰、就労等を支援するため、中・西部圏域において全県展開を図ります。</p>	<p>○【取】不登校対策事業【再掲】 教育支援センター連絡協議会を行い、教育支援センター等における不登校対応状況についての情報交換・協議を行い、活動の充実を図るとともに、広域的な支援体制を整備するため、市町村を越えた広域での連携強化を図る。</p> <p>○【新】不登校生徒等訪問支援・居場所づくり事業 義務教育修了後の不登校(傾向)、ひきこもり等の心配がある青少年を支援する教育支援センターを中・西部地区に新設し、関係機関・学校等と連携し、中卒者及び高校中途退学者で支援が必要な者のニーズを把握し、対象者に積極的に関わるアウトリーチ(訪問)型支援を全県で行い、学校復帰や社会参加をめざす。</p> <p>○フリースクール連携推進事業 県内において私立学校等の民間事業者が「不登校児童生徒を指導する民間施設」のガイドラインに沿ってフリースクールを設置運営する場合にその経費の一部を助成する。 (補助対象経費) 指導員賃金、カウンセラーの謝金、活動費 (補助率) 1/2 (1団体当たりの年間補助限度額) 3,000千円</p>	<p>22,938</p> <p>30,591</p> <p>7,500</p> <p>6,039</p> <p>189,338</p> <p>1,310</p> <p>1名(定数)</p>	<p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>地域振興部</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p>	<p>いじめ・不登校総合対策センター</p> <p>いじめ・不登校総合対策センター</p> <p>教育・学術振興課</p> <p>社会教育課</p> <p>高等学校課</p> <p>高等学校課</p> <p>教育人材開発課</p>
<p>電子メディア機器との適切な接し方の教育啓発の推進</p> <p>児童生徒の健全な成長が損なわれないよう、保護者や地域住民が行う学習への講師派遣を行うとともに、乳幼児期からの電子メディア機器との適切な接し方について教育啓発を行います。</p> <p>また、児童生徒が当事者としての意識を持って、電子メディア機器との適切な接し方をしつかりと身に付けられるよう、子どもたちも参加型の話し合いやフォーラムをPTAと連携して実施するとともに、親子向けの教材を作成・配布し、親子で一緒に考える取組を進めます。</p>	<p>○【取】インターネットとの適切な接し方教育啓発推進事業 電子メディア機器等の利用について、保護者をはじめとする大人に対し、子どももインターネットのより良い接し方についての教育啓発を行うとともに、子どもたち自ら電子メディア機器等との関わり方について見直し、実践する取組を推進する。 ・子どもたちによる電子メディア機器等利用に関するルールづくりの推進(とっとり電子メディアとの付き合い方コンクールの実施、とっとり子どもミミット～インターネット編の開催)(新規) ・とっとり電子メディアとの付き合い方フォーラムの開催(新規) ・親子学習ノート等の作成、配布(新規) ・教職員情報モラル教育研修の実施(新規) ・情報教育サポーターネットワーク教育推進員の派遣(継続) ・ケータイ・インターネーターの派遣(継続) ・乳幼児保護者向け啓発活動の実施(継続)</p>	<p>6,039</p>	<p>教育委員会</p>	<p>社会教育課</p>
<p>県立高校の魅力づくり</p> <p>学力向上や資格取得の促進、地域や企業等と連携した教育活動の実施など、教育委員会・各高校・地域が連携して全国からも注目されるような県立高校の魅力化や特色づくりに取り組み、また地域からも支援をいただける学校づくりを進めます。</p> <p>併せて、県外から生徒を受け入れる取組を推進します。</p>	<p>○県立高校裁量予算学校独自事業【再掲】 確かな学力を育成する取組、生徒主体の授業への改革、豊かな人間性・社会性を育成する取組、生徒のチャレンジ意欲の向上を図る取組を対象に各高校の魅力・特色づくりに取り組むことを推進する。</p> <p>○【新】県外募集広報促進事業(「中学校のための高等学校理解促進事業」内) 県外からも目標を持った生徒が入学することにより、学校の活性化をより一層進めるため、この県外募集に向けた取組をより一層推進する。</p> <p>○【新規】日野高等学校双葉寮への専任舎監配置(定数) 進学系列生徒の寮内での学習指導や、ソフトデニスによる県外募集実施といたったた寮を活用した学校魅力化方策を推進するため、寮管理を行う専任舎監を配置する。</p>	<p>189,338</p> <p>1,310</p> <p>1名(定数)</p>	<p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p> <p>教育委員会</p>	<p>高等学校課</p> <p>高等学校課</p> <p>教育人材開発課</p>

	H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
⑦	<p>教職員が一人ひとりの児童生徒に働きかける環境を整えるため、会議運営の効率化や校務分掌の再編など、各学級において学校力イゼン活動を実施するとともに、県立高校に単独指導者を認める運動部活動指導員をモデル的に配置することにより、教職員の多忙解消と負担軽減にむけた取組を推進します。</p>	<p>○教職員いきいき！プロジェクト推進事業 平成26年度に外部指導者とともに業務改善に取り組んだモデル校の取組事例をもとに、平成29年度県教委が指定する推進校での力イゼン活動を支援(外部指導者による校内研修及び指導助言)するとともに、各市町村教育委員会等へ外部指導者を研修講師として派遣するほか、管理職向けセミナーを開催する。</p>	3,115	教育委員会	教育人材開発課
⑧	<p>校務支援システム導入 全ての市町村立学校が共通して使用する校務支援システムについて、市町村とともに一斉導入を進め、教職員の事務作業効率化により児童生徒に働き合う時間の拡大や校種間の情報連携を図り、指導の質的向上、切れ目のない指導、教員の多忙解消等を図ります。</p>	<p>○【新】部活動指導員の配置 教職員の多忙解消及び部活動指導員を配置する。(配置人数6名)</p>	3,929	教育委員会	体育保健課
⑨	<p>県民の期待と信頼に応える教育現場の実現 責任感と誇りを持った教職員の育成し、教育現場でのコンプライアンスの一層の確立に努めます。</p>	<p>○【新】市町村立学校の学校業務支援システム導入支援事業 児童生徒の基本情報、出欠状況、成績情報、保健情報等の管理や、時間割作成や時数管理など、市町村立学校における校務処理を円滑に行うために、県内市町村の共同調達による学校業務支援システム導入の取組に対して財政支援すること、教職員の業務効率が向上し、児童生徒に働き合う時間の拡大、指導内容の充実、教員の負担軽減等を図る。</p>	279,407	教育委員会	教育人材開発課
⑩	<p>安全教育の推進 登下校時や校内における事件や事故等から児童生徒を守るため、学校の危機管理体制の充実を図ります。 また、家庭、地域及び関係機関との連携による通学路の安全点検をはじめとした地域ぐるみの安全対策を推進するとともに、自転車利用時の安全対策など、児童生徒への交通安全教育の充実を図ります。</p>	<p>○教育行政監察業務 各所属のコンプライアンス推進員を対象とした研修会の開催や、不祥事防止デンターベス等による啓発資料の提供などにより、各所属・職員の自発的なコンプライアンス推進の取組を促し、不祥事を許さない・起こさない職場風土を構築する。 ○学校安全対策事業 児童生徒が安全・安心な学校生活を送るために、学校の安全管理及び学校・家庭・地域が連携した地域ぐるみの学校安全体制の充実を図る。</p>	1,011	教育委員会	教育総務課
⑪	<p>地域の連携による学校の防災力強化 鳥取県中部地震の教訓を生かし、各学校が避難後の児童生徒の引き渡し方法を新たに盛り込んだ「学校防災マニュアル」の見直しを行うとともに、実践的な避難訓練の実施など学校における防災教育のより一層の充実を図ります。</p>	<p>○【新】学校避難所環境整備事業 避難所に指定されている県立学校及び公立学校の体育館について、トイレの洋式化・多目的化、無縁LAN環境の整備等を行う。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。</p>	3,670	教育委員会	体育保健課
⑫	<p>健康教育の充実、食育の推進 学校、家庭、地域及び関係機関と連携し、命の大切さを身につけさせる性に関する指導、薬物乱用防止教育、がん教育などの健康教育の充実を図ります。 また、食に起因する健康課題に適切に対応するため、学校全体として食育を推進します。</p>	<p>○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。</p>	91,908	教育委員会	教育環境課
⑬	<p>健康教育の充実、食育の推進 学校、家庭、地域及び関係機関と連携し、命の大切さを身につけさせる性に関する指導、薬物乱用防止教育、がん教育などの健康教育の充実を図ります。 また、食に起因する健康課題に適切に対応するため、学校全体として食育を推進します。</p>	<p>○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。</p>	120,458	教育委員会	教育環境課
		<p>○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。</p>	3,670	教育委員会	体育保健課
		<p>○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。 ○【新】老朽化施設緊急整備事業費 施設の長寿命化に向けて、老朽化が顕著な施設箇所の保全を緊急的に実施する。</p>	1,835	教育委員会	体育保健課

H29 改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
<p>4 一人ひとりのニーズに対応した特別支援教育の充実 ～個々の障がいの種類や程度に応じた教育の提供～</p>	<p>関連する主な事業</p>			
<p>①</p>	<p>障がい児への支援体制の充実 障がいのある幼児児童生徒への幼児期、小学校期から高等学校期まで連続性ある教育を推進するとともに、学校と労働、福祉等の関係機関との連携を深め、適切な相談支援、発達支援、就労支援を行うなど支援体制の充実を図ります。また、特別支援学校の専門性を強化し、教育相談や研修を行うなど、地域の特別支援教育拠点としての役割を充実するとともに、教育資源を組み合わせ、学校の役割分担を図りながら支援体制の充実を図ります。</p>	10,617	教育委員会 特別支援教育課	
<p>②</p>	<p>発達障がいのある児童生徒への支援の充実 増加する発達障がいのある児童生徒に対するため、市町村に発達障がい支援アドバイザーを配置するとともに、学習面の困難さ、特に読み書きの困難さのほか、LD等専門員の養成、発達障がい教育方法の改善のほかに、早期から教育相談の実施など、早期から一人ひとりに応じた指導・支援の充実を図ります。また、通級指導体制の構築と向き合い、県立高校にモデル校を設置し調査・研究に取り組めます。</p>	7,347	教育委員会 高等学校	
<p>③</p>	<p>特別支援教育と障がいのある子どもへの理解・啓発 教職員をはじめ、保護者、地域の方、広く県民に対して研修や広報活動等を通じて、特別支援教育や障がいのある子どもへの理解、啓発を図ります。</p>	14,086	教育委員会 特別支援教育課	
<p>④</p>	<p>特別支援教育における医療的ケア実施体制の充実 学校看護師を統轄する常勤看護師の配置を推進するとともに、学校看護師に対する研修や教員が協働した医療的ケア実施することにより、看護師と教員が協働した医療的ケア実施体制の充実を図ります。</p>	10,617	教育委員会 特別支援教育課	
<p>⑤</p>	<p>発達障がい児童生徒等支援事業【再掲】 小・中・高等学校等において、発達障がいのある児童生徒等への一貫した支援を行うために早期からの指導・支援の充実を図るとともに、総合的な推進体制の整備の充実を図るための支援を行う。</p>	14,086	教育委員会 特別支援教育課	
<p>⑥</p>	<p>発達障がい児童生徒等支援事業【再掲】 小・中・高等学校等において、発達障がいのある児童生徒等への一貫した支援を行うために早期からの指導・支援の充実を図るとともに、総合的な推進体制の整備の充実を図るための支援を行う。</p>	519	教育委員会 特別支援教育課	
<p>⑦</p>	<p>発達障がい児童生徒等支援事業【再掲】 小・中・高等学校等において、発達障がいのある児童生徒等への一貫した支援を行うために早期からの指導・支援の充実を図るとともに、総合的な推進体制の整備の充実を図るための支援を行う。</p>	1,763	教育委員会 特別支援教育課	

H29改定大綱 (第二編)	関連する主な事業	H29予算額 (千円)	担当課	備考
<p>⑤ 手話教育の推進 教職員の手話技術の向上に取り組み、手話普及員を派遣する。また、学校における手話の活用など、手話を学ぶ機会も取り組めます。</p>	<p>○手話で学ぶ教育環境整備事業 ろう者とうろう者以外が互いに理解し合う共生社会を目指し、学校におけるろう者とうろう者への理解が深まるよう、教育面における手話に関する環境整備の充実を図る。</p>	18,504	特別支援教育課	
<p>⑥ 特別支援学校生徒の職場定着の推進 卒業生の職場定着を推進するため、特別支援学校に定着支援コーディネーターを配置し、企業、労働及び福祉等の関係機関と連携しながら、ジョブマッチングや就職後のフォローアップを強化します。</p>	<p>○特別支援学校就職促進・職場定着キャリアアップ事業 障がいのある生徒の「働きたい」という願いや夢を実現させ、生涯にわたる社会の中で自分らしく豊かに生きるために、特別支援教育の充実及び関係機関と連携した支援体制の構築を図る。</p>	26,818	特別支援教育課	
5 スポーツ・文化の振興 ～運動・スポーツに親しむ環境づくり、文化・伝統の継承、創造、再発見～				
<p>① 運動遊びや体育学習の充実 幼年期から楽しく体を動かす機会を確保すること、運動(遊び)が日常的に定着し、習慣化されることを目指して、子どもたちの運動意欲を引き出し、体力向上を図るため、体育学習や放課後等に地域人材を活用した運動遊び等の運動機会の確保・充実に取り組みます。</p>	<p>○とっとり元気キッズ体力向上モデル事業 鳥取県の子どもの体力・運動能力課題に対して地域の人材を活用した子どもの運動意欲の向上や運動習慣の定着を図る。 ○とっとり元気キッズ幼児小連携推進モデル事業 モデル地域を指定し、幼児期から小学校低学年の運動経験の充実を図る。 ○運動部活動推進事業 高等学校及び中学校の運動部活動に専門的指導者(外部指導者)を派遣し、部活動及び指導体制の充実を図る。</p>	2,511	体育保健課	
<p>② トップアスリート育成 2020年の東京オリンピックから、ジュニア期からの一貫指導体制の充実やタレント発掘及び選手強化、トップアスリートと子どもたちとの触れ合いの機会創出に取り組むとともに、国内外トップチームの選抜などにも取り組むとともに、国内外トップチームの招致などに取り組みます。 併せて、競技指導体制の充実を図るため、選手指導等に当たっている優秀な教員の指導者について、選抜指導等に専念させます。</p>	<p>○鳥取県1スポーツでつながる共生社会充実事業 特別支援学校の体育施設を拠点として、特別支援学校の児童生徒や卒業生、地域住民等がスポーツを通じて共生社会の実現を目指す。また、交流及び共同学習を通して、障がいのある方にも参加しやすくなるよう、障がいのない、障がいのある児童生徒の体力向上や豊かな生活の実現を目指すとともに、障がいのある人の社会参加や障がいに対する理解啓発を進める。 ○【新規】世界に羽ばたく鳥取ジュニアアスリート発掘事業 子どもの心身の発達過程において多様な運動スキルの習得に最適な「ゴールデンエイジ(9～10歳)」の子どもの対象に多種目体験を提呈し、適正な競技種目のマッチングを支援すること、次世代のトップアスリート発掘を目指す。</p>	5,401	特別支援教育課	
<p>③ トップアスリート育成 2020年の東京オリンピックから、ジュニア期からの一貫指導体制の充実やタレント発掘及び選手強化、トップアスリートと子どもたちとの触れ合いの機会創出に取り組むとともに、国内外トップチームの選抜などにも取り組むとともに、国内外トップチームの招致などに取り組みます。 併せて、競技指導体制の充実を図るため、選手指導等に当たっている優秀な教員の指導者について、選抜指導等に専念させます。</p>	<p>○とっとり元気キッズ体力向上モデル事業 鳥取県の子どもの体力・運動能力課題に対して地域の人材を活用した子どもの運動意欲の向上や運動習慣の定着を図る。 ○とっとり元気キッズ幼児小連携推進モデル事業 モデル地域を指定し、幼児期から小学校低学年の運動経験の充実を図る。 ○運動部活動推進事業 高等学校及び中学校の運動部活動に専門的指導者(外部指導者)を派遣し、部活動及び指導体制の充実を図る。</p>	17,217	体育保健課	
<p>④ トップアスリート育成 2020年の東京オリンピックから、ジュニア期からの一貫指導体制の充実やタレント発掘及び選手強化、トップアスリートと子どもたちとの触れ合いの機会創出に取り組むとともに、国内外トップチームの選抜などにも取り組むとともに、国内外トップチームの招致などに取り組みます。 併せて、競技指導体制の充実を図るため、選手指導等に当たっている優秀な教員の指導者について、選抜指導等に専念させます。</p>	<p>○鳥取県1スポーツでつながる共生社会充実事業 特別支援学校の体育施設を拠点として、特別支援学校の児童生徒や卒業生、地域住民等がスポーツを通じて共生社会の実現を目指す。また、交流及び共同学習を通して、障がいのある方にも参加しやすくなるよう、障がいのない、障がいのある児童生徒の体力向上や豊かな生活の実現を目指すとともに、障がいのある人の社会参加や障がいに対する理解啓発を進める。 ○【新規】世界に羽ばたく鳥取ジュニアアスリート発掘事業 子どもの心身の発達過程において多様な運動スキルの習得に最適な「ゴールデンエイジ(9～10歳)」の子どもの対象に多種目体験を提呈し、適正な競技種目のマッチングを支援すること、次世代のトップアスリート発掘を目指す。</p>	6,911	地域振興課	

H29改定大綱(第二編)	H29予算額(千円)	担当課	備考
<p>文化芸術活動の振興 平成27年度に本県で初めて開催した「近畿高等学校の充 台文化祭」の成果を維持・継続し、高校の文化祭活動の充 実を進めるとともに、本物の舞台・上質な演劇公演に軸れ る機会の提供、演劇表現ワークショップの開催など、子 どもたちの創造性を育む取組を進めます。 また、障がい者芸術文化祭への参加を通じて得られた成 果を生かすため、「あいさつイベント」に参加することにより、障がい 地域で開催された私たちの文化活動の活性化と、文化芸術活動を のあつた健全な子どもたちの文化活動の交流の拡大に取 り組まれます。 ③ 「鳥取県立美術館整備基本構想」に基づき、美術館整備 基本計画の策定、PPP/RFI手法導入可能性調査等の 美術館整備に向けた準備を進めるとともに、文化・ 芸術の中核拠点としての県立博物館の機能強化、県内の美 術館や博物館等とのネットワークの強化に取り組みます。</p>	<p>関連する主な事業</p> <p>○文化芸術活動支援事業 文化活動を活性化し、文化芸術活動に対する気運を高めるとともに、文化芸 術活動の継承者を育成する。</p> <p>○高校生・まんがメディア芸術活動事業 近畿高等学校総合文化祭まんが部門の開催を機に、県高等学校文化連盟に設 置された「まんが専門部」の活動を支援する。</p> <p>○共生社会をめぐり文化・芸術活動支援事業 児童生徒の自主性や主体性、自信を培うことにつながる芸術・文化活動の推 進・充実を進め、障害者との交流を深めるとともに、より一層の社会参加と理 解啓蒙を進め、共生社会の形成を図る。</p> <p>○【新】鳥取県立美術館整備推進事業 「鳥取県立美術館整備基本構想」に基づき、その基本計画を策定し、RFI 手法導入可能性調査を行うなど、美術館整備に向けた準備を進めるとと もに、地域に根ざし県民のアイデアと愛情で運営される「私たちの県立美術 館」とするたため、啓発活動を展開する。</p> <p>○芸術鑑賞教室開催事業 児童・生徒の豊かな情操を培い、健全な育成に資するため、文化施設や学校 体育館等において芸術を鑑賞する機会を提供する(公財)鳥取県文化振興財団 の取組を支援する。</p>	<p>教育委員会 高等学校課</p> <p>教育委員会 高等学校課</p> <p>教育委員会 特別支援教育課</p> <p>教育委員会 博物館</p> <p>地域振興部 文化政策課</p>	<p>33,963</p> <p>4,900</p> <p>5,456</p> <p>29,928</p> <p>10,000</p>

